

ては組込み関数と基本外部関数だけを認めることで
す。私はむしろこのほうが現実的だと思います。

ついでに副プログラムも削除したいのですが、これ
は CALL 文と COMMON 文とは残してという条件
付きの意見ですから、叱られるかもしれませんが、処理
系はらくになるわけです。

D-6 英字名の類について

一つの英字名は、プログラム単位内ではただ一つの
類 (class) に属する、としたほうがよいと思います。

すくなくとも、これによって迷惑する利用者はいない
でしょう。これは JIS FORTRAN の上のほうのレベ
ルでもそうしたい気がします。

それから、プログラム内でも、相当強く制限してよ
いでしょう。

D-7 数値の定義の階について

定義の階 (level) のはなしもいやなことで、処理系
の効率 (JIS, 第 2 階の定義, 備考) をこんなマイクロな
ところで良くしてみても、はじまらないという気がし
ます。

その他

空白を区切り字とする (A-1), 予約語をきめる (A-

2) は大賛成です。現実にかなり高い水準の処理系で
も、この 2 点を採用しているものがあるようです。な
お、いやな例として

```
DO 5 I=1
```

```
DO 3 J=1, 20
```

などは、デバッグもたいへんでしょう。

それから、8 進数字 (C-1) の件は、日本電子工業
振興協会による JIS への提案 (44-C-182) にも同じ
趣旨が述べられております。

いろいろ申しましたが、最後に、ミニフォートラン
の規格がもし実現した場合には、その解説のなかで、

「ミニフォートランの規格の範囲をこえた処理系を作
成する場合には、まず FORTRAN 3000 に合致した
拡張を考慮すべきである」ことを、つよくうたうのが
よいでしょう。

ただし、FORTRAN 7000 や 3000 自体のなかにも
いやな要素はあるわけで、これはみんなの力でなんと
か改定する方向にゆくべきでしょう。

(礎稿を書いてから大駒と討論し、すこし書き足し
ました。)

(昭和 44 年 11 月 4 日受付)

ミニ FORTRAN に対する西村の討論について

大 駒 誠 一*

小生の提案に対する西村の討論を読み、同じ考えを
もつ人がほかにいることがわかって大変心強く思っ
た。

1) EQUIVALENCE 文の制限について

D-3 で EQUIVALENCE 文中で添字として使える
のは整数 1 だけとするという案は、コンパイラでの
EQUIVALENCE 文の処理がたしかにずっと簡単にな
るが、それでもまだ配列や変数の面倒な並べかえを
しなければならない。やはりミニ FORTRAN からは
EQUIVALENCE 文はどうしても削除したい。EQ-
UIVALENCE 文はある意味で非常に有用であるが、
小さいプログラムならなくてもまったく困るというも
のではない。

2) 関数について

関数については西村の意見にまったく賛成。はじめ

は副プログラムを両方ともなくしてしまうことも考え
たが、経験上副プログラムなしではプログラムを組む
のがかなり不便になるので、副プログラムは両方とも
使えるが、パラメータの受け渡し方を 1 とおりにし
ようとしたわけである。文関数のかわりとして関数
副プログラムも残したかったが、やはり副プログラム
も 1 とおりに制限すべきであった。したがって B-4 を
つぎのように変更する。

『B-4 関数副プログラムと引数の削除

関数は組込み関数と基本外部関数のみとし関数副
プログラムは削除する。またサブルーチン副プログラム
は引数を禁止し、パラメータの受け渡しは共通ブロ
ックを通じてだけ行なう。』

これで配列名に添字をつけないで書くのは COM-
MON 文の中だけとなる。

3) その他

D-1 の CONTINUE 文と FORMAT 文だけに文

* 慶応義塾大学・工学部

の番号がつけられるというのは、たしかにいいアイデアだが、にわかには賛成しかねる。また、これは小生の提案 A-3 を完全にはふくんではいない。すなわち、1つの CONTINUE 文を複数個の DO 文の端末とすることの禁止にはなっていない。

D-2 の継続行の削除には賛成、D-4 の DO 文の制限については反対である。

その後、一松 信(京都大学)の「教育用小型 FORTRAN の構想案」(’69. 8. 18) というメモが手にはいった。ミニ FORTRAN の必要性を感じている人は多

いらしい。そのうち、西村、大駒の提案に含まれていないのは、

i) 補助入出力文 (REWIND, BACKSPACE など) の削除。

ii) 代入文の左辺と右辺の形は一致していなければならない。形の変換は FLOAT, IFIX を陽に書く。

iii) **のあとの1次子は整数形に限定する。であった。

(昭和 44 年 11 月 4 日受付)